

さんくす

4年ぶりの納涼祭に多くの笑顔

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、開催できずにいた三区納涼祭が7月30日(日)に開催されました。

正午からは八坂神社世話役らによる伝統行事のたらい神輿が地域を練り歩き、祭り気分を盛り上げた後、午後2時からは三区公民館では子どもまつりが開始されました。

まつりの再開を大勢の子どもたちが待っていたようで、ゲームコーナーではヨーヨーつりやスーパーボールすくい、バスケトピンゴ、ストラックアウトなどを楽しみました。

ゲームコーナーでは、チケットを持って4つのゲームを全て周るとス



祭りのトリを務める八木節

ました。子どもたちの喜ぶ姿を見た育成会役員も、苦労が報われたようです。

午後5時、子ども八木節で納涼祭が本格的にスタート。みずほ会の民謡踊りを



経て、サンバチームが強烈なリズムと華やかなダンスをステージ上で披露すると、会場に集まっていた子どもたちも一緒に踊るなど和やかな雰囲気になりました。祭りのトリを務めるのは、三区八木節愛好会で、自慢の喉と八木節踊りで会場を魅了しました。

3年間納涼祭が開催できなかった事から、区長や公民館主事らは誰も納涼祭などの行事経験者がおらず、岡田弘区長は大きな不安を抱えて

迎えた納涼祭でした。しかし、これまで参加賞が配布されていた。

模擬店では、ラムネ・からあげ等も用意されていて、子ども達は大満足の時間を過ごしてい

ました。模範店では、ラムネ・からあげ等も用意されていて、子ども達は大満足の時間を過ごしていました。



みんなでサンバ



伝統のたらい神輿

散歩道 (25) 身無川 (しんなしがわ)

身の無い川と書いて「しんなしがわ」と読む川があります。この川は、笠懸公民館やグラウンドゴルフ場の西側を流れ、笠懸南中学校の西側からは暗渠となるため、その存在を知る人は多くありません。

源流は鹿の川沼ですが、さらに遡ると、鹿田山東のひまわり畑付近の字は「吹上」で「七つ井戸」と呼ばれる場所や、さらに北に行くと「雨沼」、その東は「天沼」など、水に由来する地名が多く見られます。

笠懸公民館付近の身無川(写真)は



コンクリート造で“ちょっと大きな道路側溝”のようですが、かつて素掘りの時は少量の流量は地下に浸透してしまい、雨が降ったときだけ川になる「水無川」だったのかも知れません。

存在感が薄い身無川が正体を現すのはゲリラ豪雨の時などです。笠懸南中学校西側から桐生大学付近にかけて道路が冠水して通行が困難になることがあります。雨水の調整池が点在する、現在の身無川の西側100メートルくらいまでが本来の河川なのかも知れません。

東小学校入り口歩道橋を撤去

県道桐生伊勢崎線の道路拡幅のネックとなっていた笠懸東小学校入り口の歩道橋が6月26日(月)と30日(金)の工事により撤去されました。

26日午後8時に県道を通行止めにして解体の工事が始まりました。

歩道橋はボルトがさび付いていることから、分解ではなくガス溶断を用いた切断による分解作業で、歩道橋のスロープ部分から手をつけました。この日は北側のスロープ2本の撤去が完了しました。橋梁部分は30日に作業が行われ、翌朝には歩道橋の形跡はなくなっていました。

この歩道橋は、これまで県道桐生伊勢崎線の4車線化のネックとなっていて、撤去されたことで拡幅工事のスピードアップが期待されます。このほか、これまで歩道橋北側は2本の道路が数メートルの間隔で接していたことから、道路を1本にまとめるなど交差点の構造変更工事も行われます。



解体される歩道橋

市場の一部で解体が始まる

岩宿駅南にある桐生地方卸売市場の国道50号に面する建物の解体が始まりました。市場の土地は桐生市が所有するもので、あまり利用されていない部分の土地を20年の定期借地で賃貸するというものです。

賃借人として上がっているのが、食品スーパーの「ベルク」で、複合店舗になる模様です。この計画については桐生市議会でも議論されているほか、オンブズマンもベルク

に決まった経緯について情報公開を求める動きもありますが、桐生市はこの計画を推し進める模様です。

一方、みどり市では、岩宿駅を中心とした街作りのワークショップを行っていて、「駅南口の整備を進めるべき」という意見が多く出されました。桐生地方卸売市場の利用については、みどり市としても市の将来計画に大きな影響を与えるだけに、桐生市が進める土地利用計画は注目されるどころです。



解体が進むベルク出店予定地

行政区グラウンドゴルフ大会

三区が主催する、第7回行政区グラウンドゴルフ大会が、5月27日(土)午前9時からあすかホールグラウンドゴルフ場で行われました。

快晴のもと大会は参加人数39人(男性24人、女性15人)で初めての男女混合で行われました。栄えある優勝はスコア51(21アンダー)を達成した吉原猛さん(写真)でした。記者は同組でプレイさせて頂きましたが、目の前で3回のホールインワンを見せつけられました。

大会主催者から「初の男女混合開催でしたが、上位10人中、6人が女性だったことから混合開催は成功でした。」とのコメントがありました。

11月11日(土)には福祉部主催のグラウンドゴルフ大会が開催予定であり、広く参加者を募集しています。多くの方々に参加頂き、さらに盛り上げて頂けたらいいですね。



公民館LED化で省エネ

6月26日(月)に公民館の第1・2会議室(和室)、玄関、廊下の照明器具をLED化しました。これにより、以前より明るくなり、文字が見やすくなりました。

市の補助金を使用しながら順次LED



LED化した和室

化を進めていて、電気料金・省メンテナンスによるランニングコスト削減に貢献しています。あと2年ほどで全ての工事が終了する模様です。

行事予定

●敬老行事日程 … 10月中旬に記念品等を配布予定(詳細日程は未定)。本年度の3区敬老行事は、以下のとおり。「80歳以上の方の見守りを兼ねて商品券、菓子等を配布します」

●荒神山柴刈り … 11月11日(土)。本年度の1, 2, 3区合同の荒神山柴刈りは以下のとおり。

「山野草等の自然保護と作物への鳥獣被害低減を目的に各区の行政区、分館及び協力者による荒神山の下草刈りを行います」(東小学校、PTA、児童等の参加は要請せず、炊出し等は行いません)

笠懸東小学校5年生が農業講和

5月19日(金)、笠懸東小学校5年生を対象に午後の1時間限の授業時間を利用して、地元の農業者ら3名による農業講話が行われました(写真)。その内容は、「みどり市の農業」や「おいしいお米になるまで」と「県内の公設農業関係試験研究機関といちごの品種開発」についてでした。

今回の講話の目的は、例年授業で行われている田植え作業の前に、講話によって地域の農業や米作りについての理解を深めることでした。講話の中で、米作りと食卓のご飯が直接結びついた様子で、生徒の驚きと関心が伺えました。また、生徒からの質問も時間内では収まらないほど手が挙がり、理解が深まったものと思われました。



笠懸東小学校5年生が田植え

6月15日(木)曇り、午後2時から約2時間、笠懸東小学校5年生の総合学習の一つで、5月25日に種もみ蒔きをしたモチ米苗の田植えが行われました。参加者は東小5年生70名と先生や保護者、地域協力者、約15名による作業でした。

今年は全3クラス70名の一斉作業になりました。畝幅30センチ株間18センチの植え付けの手作業でした。今後は10月中旬、稲刈り、脱穀、もち米配布という計画になっています。

泥土に足を取られながらも楽しそうな苗植えとなり、終了後には広報関係者によるインタビューが生徒代表に行われました。田植え機による作業で地域協力者が仕上げ、無事作業が終わりました。田植えの様子はさんくすのホームページで動画を見ることができます。



さんくすがインターネットでも見られます

<https://sannkusu-kasakake.com>

右のQRコードを読み込んで下さい



熱心に練習する子どもたち

子ども八木節教室 25人参加

5月19日(金)に三区子ども八木節教室の開講式が4年ぶりに行われました。

小学1年生から6年生までの25人が参加し、三区納涼祭や笠懸まつりの披露に向けて練習がスタートしました。三区八木節愛好会の方々が講師として、お囃子や踊りを教えています。

4年ぶりの開催であり参加希望者の人数が懸念されましたが、25人が参加したことで関係者も喜んでいました。初めて参加する子どもが多かったようですが、数回の練習で覚えることができたようです。関係者は、「おまつりの当日に、子ども達の揃った演奏を楽しみにしてほしい」と話していました。

子ども育成会 資源ごみ回収

三区子ども育成会活動の一環として、資源ごみ回収を今年度も3回の開催をする予定です。第1回目は6月18



日(日)に開催され、収入は14,871円ありました。

育成会の山澤会長は、「区民皆様のご協力に感謝し、育成会活動の財源として行事に参加している三区の子ども達のために有効活用したい」と話していました。

第2回目は次のとおり予定。第3回目は開催日が決定しましたら、詳細は回覧板にてご案内します。

開催日時: 11月19日(日)9:00~11:00

開催場所: 三区公民館

内容品: 新聞紙、雑誌、ダンボール、アルミ缶、スチール缶、ビール瓶、一升瓶。(瓶は茶色のみ)

小沼西道路沿いにベコニア植栽

6月17日(土)午前8時より農地と水・阿左美地域環境保全協議会(武井章会長)主催によるベコニアの植栽が小沼西道路沿いで行われました(写真)。この協議会は一区・二区・三区の各種団体の代表の方々が構成員となって、地域の環境や景観維持を目的としています。



当日は梅雨の合間で猛暑日となることが予想されていましたが、17名が参加しました。武井会長の挨拶で「各団体の会合折、活動内容を報告していただき、地域の皆さんに関心の輪を広げていただければ有難い」と話していました。その後は手際よく植込みと冠水を行いました。また、今年は雑草の抑制と水分保持を兼ねて木材チップを敷き詰め、約1時間程で終了しました。盛夏に白、ピンク、赤と綺麗に咲くベコニアが楽しみです。

三区子ども育成会日帰りバス行事 60人の申込み

9月9日(土)に第三区子ども育成会主催による、第11回目の日帰りバス行事が開催され、モビリティリゾートもてぎや益子焼窯元共販センターで絵付け体験を行います。



益子焼窯元共販センター
ホームページから

募集要項は回覧板等で案内し、申込みは締め切りでしたが、参加申込みは60人あったそうです。育成会の山澤会長は、今年度も開催できることに感謝していました。参加者はマグカップに自作の絵付け体験をしてくるそうです。詳しくは、次号にて掲載します。

事業所紹介(10)

有限会社アライサンス

ヤマダ電機の南側でプラスチック加工製造業を営むのが有限会社アライサンスです(本社桐生市)。

この会社は、農業や園芸用の資材の販売、肥料や台車、鉢植えなどの生産用資材、ガーデニング用品製造を手掛けている。3区に工場は第一工場、成型第2工場とあります。ほかには伊勢崎工場となっています。3区行政の活動にご理解いただいて特別区費等で大変お世話になっています。



育成会ラジオ体操に38人参加

三区子ども育成会主催による早朝ラジオ体操が、7月24日(月)から29日(土)まで三区公民館で開催されました(写真)。今年度は諸事情で短期間の開催となりましたが、期間中は毎朝6時45分からラジオ体操をして、夏休み中でも早起きをして元気な体を作ることを目的に開催しました。



参加者には毎日の参加賞、最終日は皆勤賞が渡されるようで、今年は38人が頑張って参加していました。

ちょっとピンぼけ

阿左美沼の南から国道50号を超えて笠懸東小の南まで水田が広がっている。阿左美沼土地改良区がその水系を管理する水田地帯である。

この地域の水田で利用されている水はその昔、代官岡登景義が笠懸野の荒野を潤すために渡良瀬川から水を引くために開削した岡登用水路を流れてくる水である。毎日食べるお米ではあるが、水田に必要な水がどのような経緯があって利用できるようになっているのかこれまで深く考えたこともなかった。

米作りに関わるようになってはじめて、用水を開拓

した先人の苦労や工夫、さらに、水の利用や水路はしっかり管理されていることを少しずつ知ることになった。あたりまえのように水路を流れている水ではあるが、それには長い歴史的背景があって、今利用できるんだなあなどと、あたり一面田植えが終わった後のあぜ道を散歩しながら思いを馳せる。

すると、さわやかな風とともにあちこちから聞こえてくる蛙の鳴き声、だんだんと「蛙の合唱」に?私の好きなNHKラジオ番組「音の風景」、うまいネーミングだなあ。(ゆ)